

クラウド部会 福岡視察レポート

株式会社ネットフォレスト

新井 翔太

2022年6月3日（金）、クラウド部会にて福岡現地視察を実施いたしました。

当初は同年3月11日（金）の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、6月に延期となりました。

本稿では、簡単ではございますが、視察当日の様子や内容についてレポートいたします。



esports Challenger's Parkにて

視察概要

| | |
|------|---|
| 日時 | 2022年6月3日（金） |
| 主催 | 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会 |
| 視察概要 | 1) シェアサイクルサービス「チャリチャリ」のオペレーション現場視察 アテンド：neuet 株式会社（クラウド部会 副部会長） 家本賢太郎氏 2) esports Challenger's Park 視察（eスポーツの現状について） アテンド：株式会社戦国 西田圭氏 3) 福岡市のワーケーションについて アテンド：福岡市経済観光文化局 横山裕一氏、岩見亮久氏 |

参加メンバー

| | |
|---|-------|
| GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 クラウド部会 部会長 | 青山 満 |
| KROW 株式会社 クラウド部会 副部会長 | 宮内 正久 |
| クロスモバイル株式会社 | 秋山 卓司 |
| 株式会社イプリオ | 松下 和弘 |
| エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 | 福岡 弘高 |
| 株式会社 Enjoy | 土本 直矢 |
| 株式会社ネットフォレスト | 新井 翔太 |

シェアサイクルサービス「チャリチャリ」のオペレーション現場視察

neuet 株式会社 代表取締役、そしてクラウド部会 副部会長である家本賢太郎氏に、シェアサイクルサービス「チャリチャリ」のご説明をいただきました。

当日の様子を振り返る前に、チャリチャリの歴史とサービス内容についておさらいします。

2018年2月、メルカリの子会社である株式会社ソウゾウと福岡市が共同でシェアサイクルサービス「メルチャリ」を開始。同年6月には「福岡スマートシェアサイクル実証実験事業」に認定されました。その後、2019年8月に、メルカリのシェアサイクル事業撤退によりソウゾウから neuet に事業が継承され、2020年4月から福岡市と neuet による「福岡スマートシェアサイクル事業」がスタートし、現在の「チャリチャリ」に改称されました。

福岡市における車両数は2,500台、駐輪ポートは500箇所まで増加しており、中心部では数百メートル進めば別の駐輪ポートを見つけることができます。料金も分課金モデルになっているので、「ちょっとそこまで」の移動にも気軽に利用することができます。



Fukuoka Growth Next の駐輪スポットにて

当日は“Fukuoka Growth Next”前に集合し、その後、実際に皆でチャリチャリにライドし、街を2kmほど巡りました。街を巡った後は、整備を行っているチャリチャリの倉庫にご案内いただき、シェアサイクルの取り組みの実態や運営などの色々なお話を聞かせていただきました。倉庫には歴代の自転車パーツがあり、改良に改良を重ねて乗りやすく利便性の高い自転車を作り上げている企業努力を垣間見ることができました。また、膨大な自転車の管理方法や駐輪スポットにある自転車の台数が場所によって偏らないようにする施策、オペレーションなどもご説明いただき、シェアサイクルサービスの運営の難しさを感じました。

2日間滞在している間にもチャリチャリにライドしている方を多くみかけ、ほとんどの方がスムーズに開錠/施錠をしている様子から、福岡では交通手段の1つとして根付いていると感じました。福岡に行かれた際は是非チャリチャリしてみてください！

esports Challenger's Park 視察 (e スポーツの現状について)

株式会社戦国 代表取締役の西田圭氏に、運営されている“esports Challenger's Park”にてe スポーツの現状についてご説明いただきました。

日本においても e スポーツ市場は右肩上がり成長してはいるが、世界規模で見るとまだまだ劣っている。日本において e スポーツはまだ「ゲーム」感覚となっており、e スポーツを見るという文化がなかなか根付いていないが、海外では e スポーツの大会を野球やサッカー同様、「スポーツ」感覚で観戦するという文化が根付いている。この文化（感覚）の差をなんとかしないと日本においての e スポーツ市場は発展していかないとのことでした。この差を埋めるべく、日本政府、企業、地域、そして“esports Challenger's Park”では e スポーツ活性化に向けた様々な取り組みを実施されているとのことでした。“esports Challenger's Park”ではパソコンゲームに触れてもらう、親世代へのパソコンゲームへの認識を改めてもらうことを狙いに初心者親子教室を実施されているようだ。



e スポーツの現状について西田氏にご説明いただいている様子

その後、施設内を案内いただきました。施設内には最大 5vs5 の対戦、最大 20 名が観戦できる円形スタジアムから、プレイエリア、ショップ、カフェ、配信スペースなど e スポーツの様々な要素が集約されておりました。e スポーツの熱を肌で感じることができる場所ですので、福岡に行った際は是非立ち寄ってみてください！

福岡市のワーケーションについて

福岡市経済観光文化局観光コンベンション部の横山氏、岩見氏に、福岡市が推進する都市型ワーケーションについてご紹介いただきました。

はじめに福岡市のワーケーションにおける魅力をビジネス、観光の両面からご説明いただき、その後、福岡市におけるワーケーションの最近の取り組みについてご説明いただきました。ワーケーションポータルサイト「W@F」の運営や市内交通費の助成、イベントの開催など、様々なワーケーション促進活動をされているとのことでした。アクセスが良く、都市・歴史・自然がつまっているコンパクトシティ福岡だからこそそのワーケーションの魅力、可能性について学ぶことができました。



福岡市のワーケーションについて横山氏にご説明いただいている様子

おわりに

新型コロナウイルスの蔓延で、オンライン文化が加速度的に進んできました。オンラインは大変便利ではありますが、実際に現地へ赴き、現場の雰囲気を感じ、現地の方と交流する“オフライン”もビジネスを促進し、人を成長させるためには欠かせぬものであると改めて感じる視察となりました。私自身、今回の視察で多くのコトを学び、視点と視野を広げ、視座を高めることができました。福岡でお世話になった皆様に改めて御礼申し上げます。

収束する兆しが見えない新型コロナウイルス感染症ですが、皆様と気兼ねなくオフラインでお会いし、交流できる日が一日も早く戻ってくることを切に願っております。最後までご高覧いただきありがとうございました。

新井 翔太